

# オーストリア クリッペンシュタイン山 ヴィア・フェラータ 山行報告

クリッペンシュタイン山：ハルシュタット湖の南にある山 標高 2,100m  
ヴィア・フェラータの終了点がファイブ・フィンガーズの展望台

山行日時：令和1年（2019年）8月9日

参加者：北壁ルート 難易度E+：溝尾 幸一・吉村 孝晴・岡村 繁雄  
北壁横断ルート 難易度C：岡村 真由美

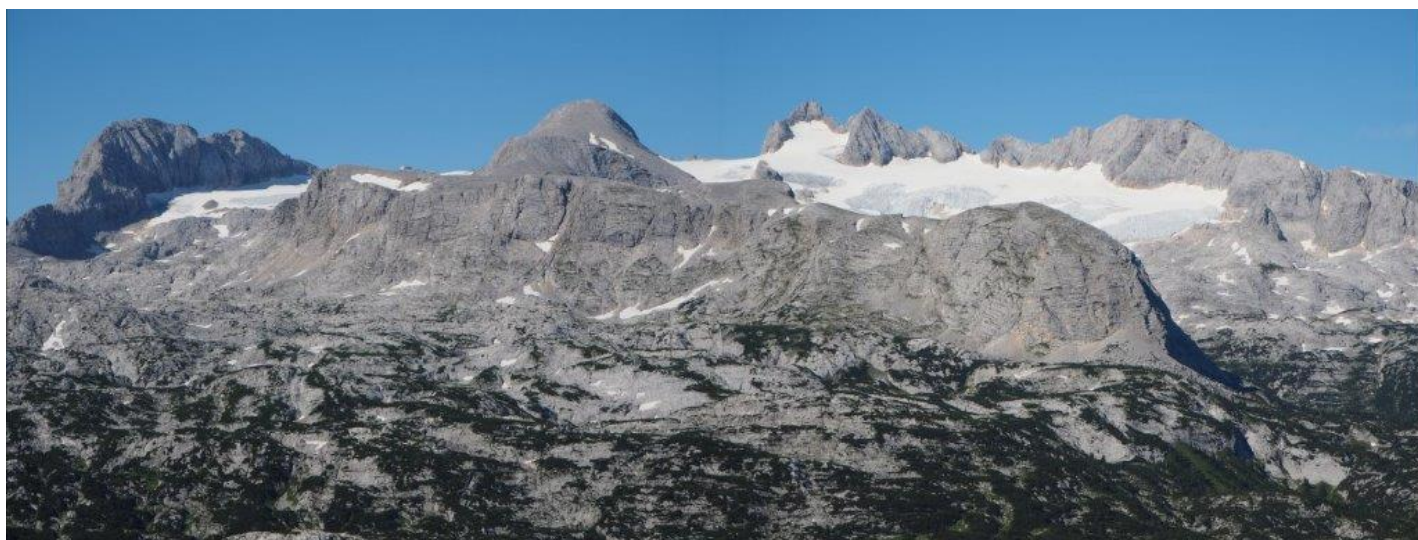
9日天候の良い日を選んで、クリッペンシュタイン山のヴィア・フェラータに出発。  
ロープウェイを2区間乗り継いで下車、快晴で絶好の登山日和。  
乗り継いでダッハシュタイン山塊の山並みが目の前に広がり素晴らしい。



ロープウェイ2区間目の乗車場



ダッハシュタイン山塊をバックに記念撮影



ダッハシュタイン山塊を望む〔望遠〕

ロープウェイを下車しファイブ・フィンガーズの展望台方向に歩いた途中に、ヴィア・フェラータへの案内板がある。



ファイブ・フィンガーズの展望台方向に歩いた

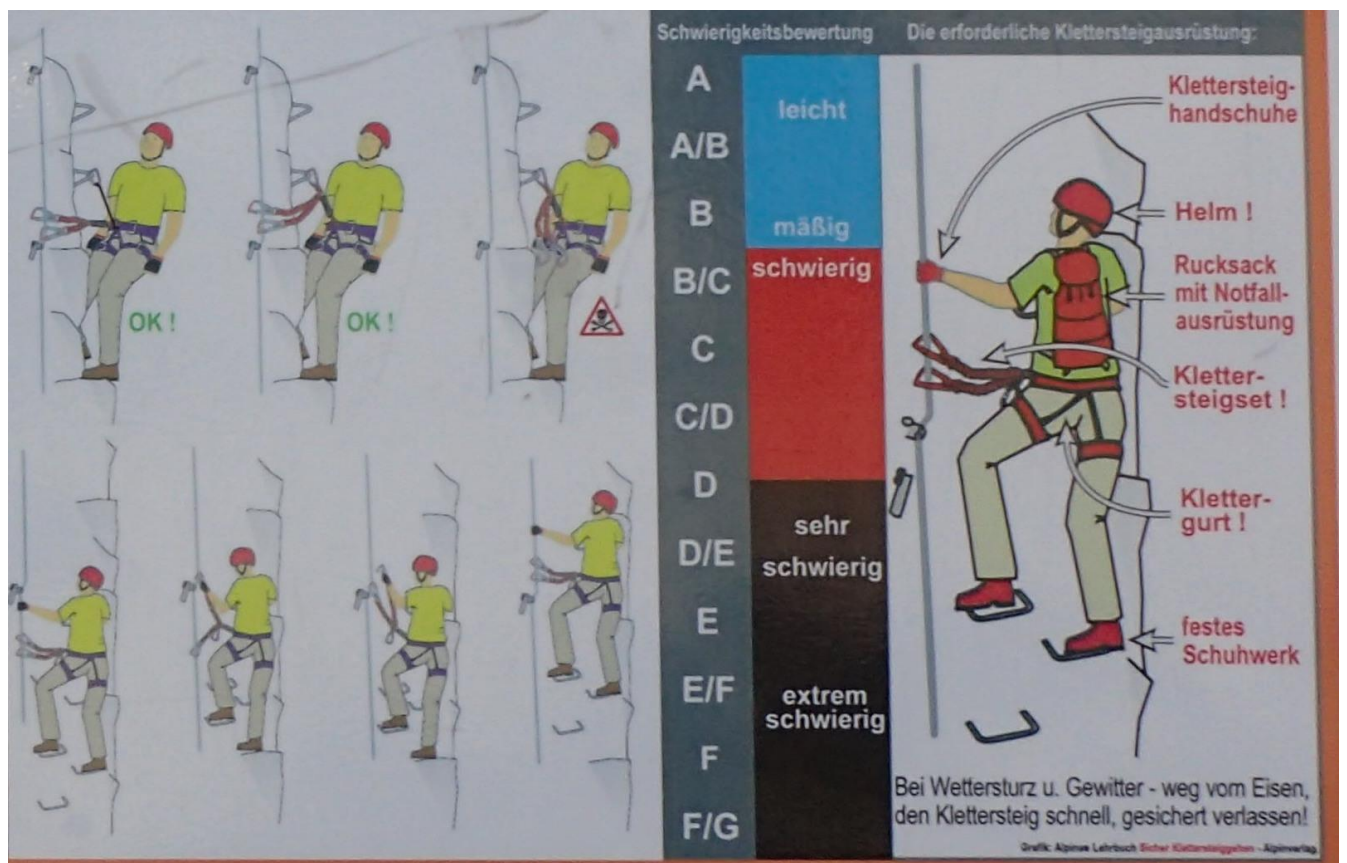
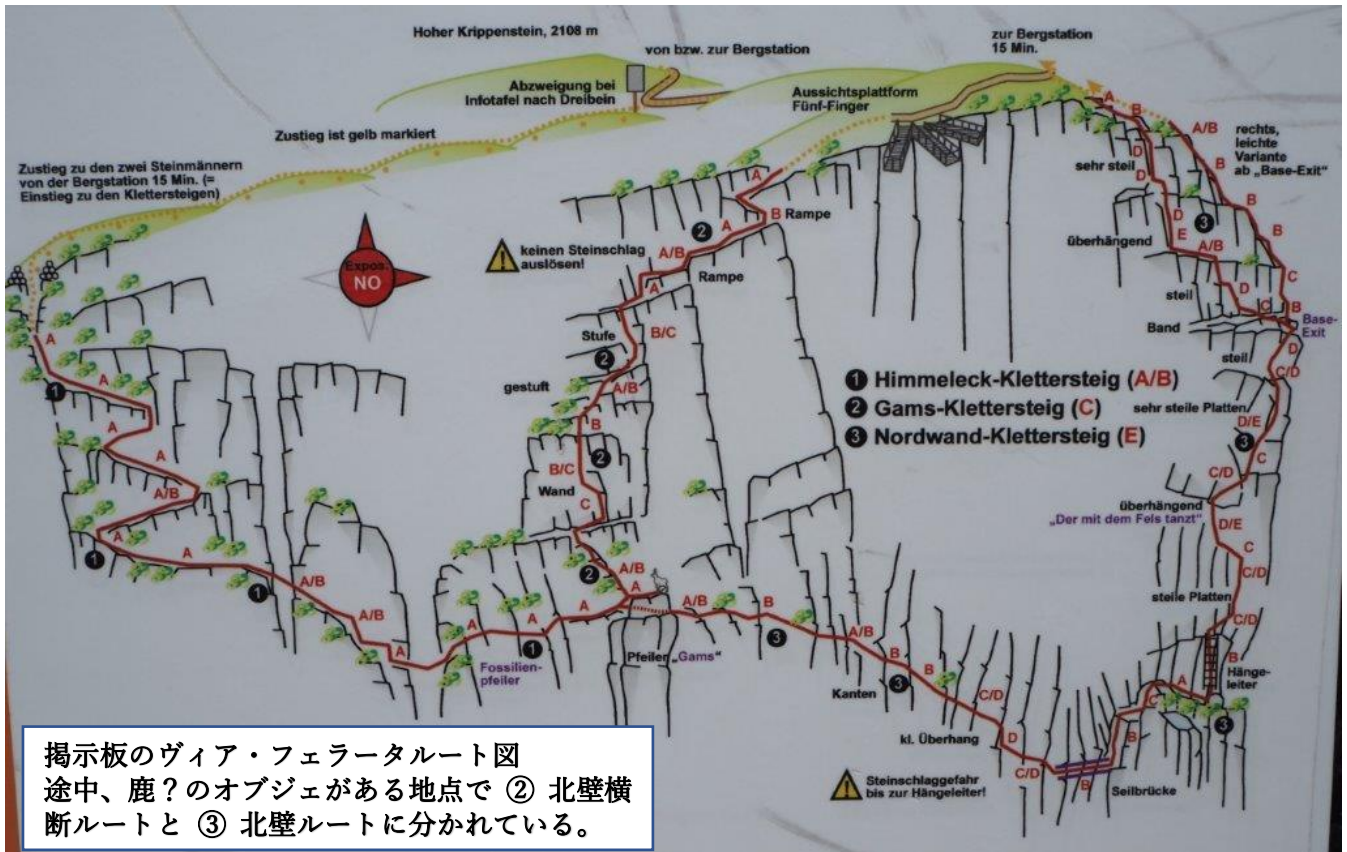


ヴィア・フェラータへの掲示



ヴィア・フェラータ入口の掲示

改めて内容を見てみると、ヴィア・フェラータでのランヤードの使用方法や基本操作、グレードの説明が掲示されている。



### ランヤードの使用方法や基本操作、グレードの説明

[簡単(leicht)・難しい(schwierig)・非常に難しい(sehr schwierig)・極端に難しい(extrem schwierig)]

③ 北壁ルートの D や D/E のグレード箇所では、昔 人工登攀でよく行った、ハーネスから直接プロテクションを取って休憩 (左上の図) を取りながら登る方法が、図で解説してあり参考になった。



ヴィア・フェラータ入口の目印

分かりづらいが、ちょっとした目印とヴィア・フェラータのワイヤーの設置があり、ここでハーネスを装着、ワイヤーに沿って下って行った。



① の下降ルート





前方、鹿?のオブジェ  
Aグレード

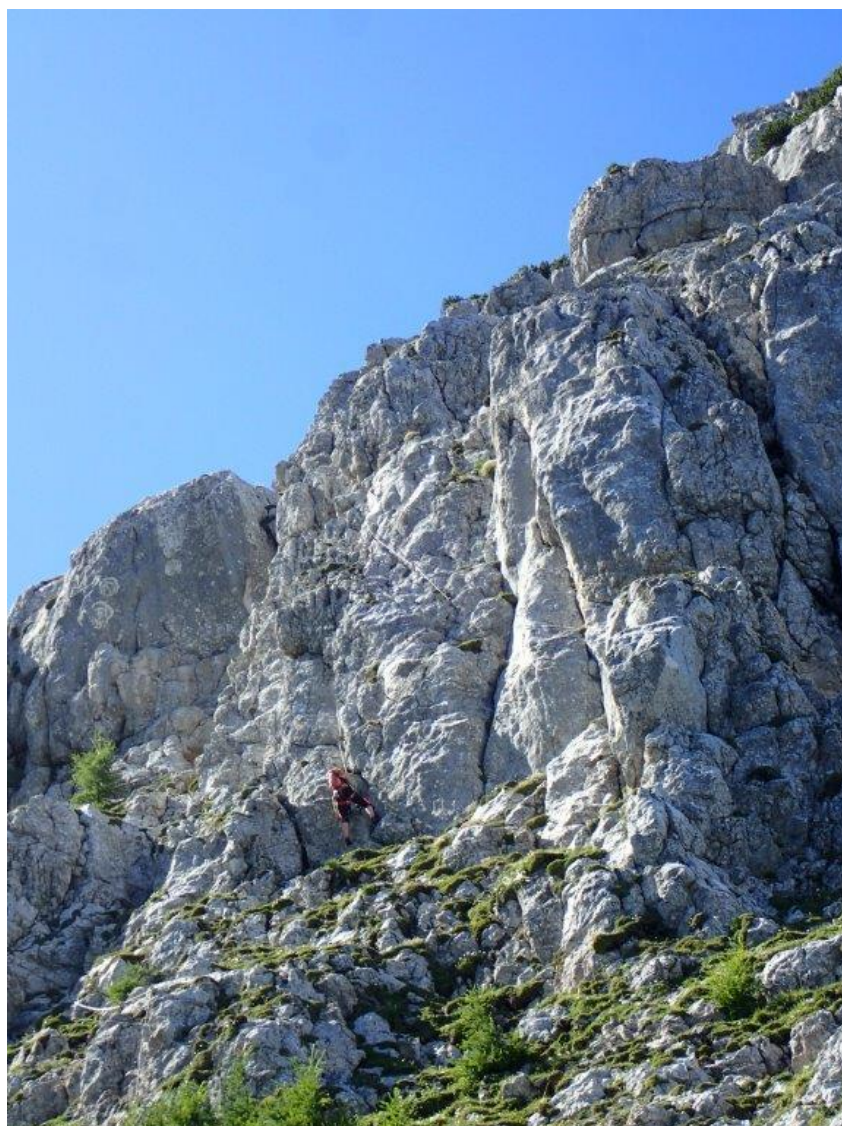


中間点、鹿?のオブジェで記念撮影

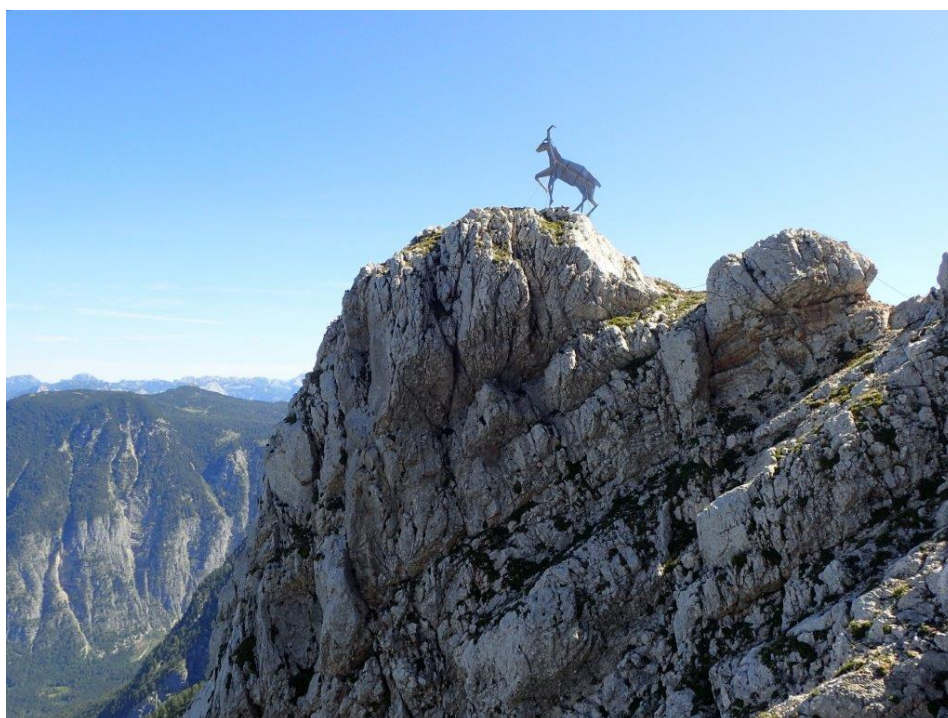


〔望遠〕

この鹿?のオブジェがある地点で ② 北壁横断ルートと ③ 北壁ルートに分かれており、ここで岡村真由美は ② 北壁横断ルートへ、その他3名は、③ 北壁ルートに望んだ。



分岐点より② 北壁横断ルート  
Cグレード地点を望む



③ 北壁ルートより鹿の  
オブジェを望む

### ③ 北壁ルート



アッパーハング (kt.oberhang) 付近



ロープブリッジ (seilbrücke)



ハングハシゴ (Hange Leiter)



名前の通りハシゴが逆にかけているため、初めは内側から登り、抜け口で外側に出て登っていく。  
ハルシュタット湖を眼下に望む高度感抜群のルートであった。



抜け口で外側に出る



この眺望を見ながらの登攀である

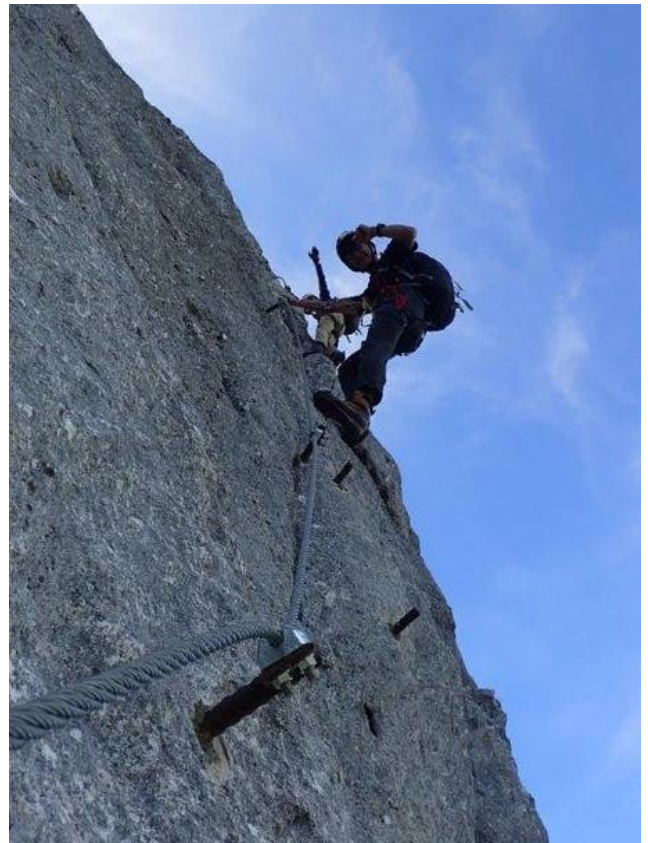




オーバーハング (überhängend) D/E グレート付近  
岩と踊る人 (“Der mit dem Fels tanzt”) と銘打ってある



非常に急なプレート (sehr steile Platten)  
D/E グレート付近



D/E グレート付近では、先頭の吉村さんがさすがに疲れたのか、掲示板に記載されていた通りのやり方で、休息を取りながら登っていた。

後続の私はその状況を見て、傾斜のきつい箇所は、いっきに時間をかけずに抜けるよう心がけエネルギーの消耗を最小限にして登った。

③ 北壁ルートの終盤疲れていたのので右に抜けた。

左のルートには、Eグレードがありオーバーハング（überhängend）となっており、行っていたら苦勞したろうと思った。



もうすぐ終盤の分岐地点



ファイブ・フィンガーズの展望台を望む



左：元の北壁（original nordwand）  
右：簡単な抜け道（easy way out）



後方にファイブ・フィンガーズを望む

③ 北壁ルートの終了点での記念写真





ハルシュタット湖とハルシュタット旧市街、左下岩塩抗へのケーブル



ハルシュタット旧市街、岩塩抗へのケーブルカー〔望遠〕



ファイブ・フィンガーズ展望台



ファイブ・フィンガーズ展望台での記念写真



8/9 クリッペンシュタイン山よりの眺望  
右の写真は、ダッハシュタイン山〔中央〕の  
丁度裏側での一コマ



8/11 ダッハシュタイン山 シーサラーヒュッテの前にて

8月11日に、ダッハシュタイン山の山頂を目指す。約1時間かけシーサラーヒュッテ(Seethalerhütte)〔2,740m〕まで登ったものの天候回復の見込みがないため登頂をあきらめ下山した。

色々なガイド本の通り、オーストリアの山間部は、全般的に天候が悪い日が多かったが、いったん天候に恵まれると素晴らしい景色を堪能することができる。